

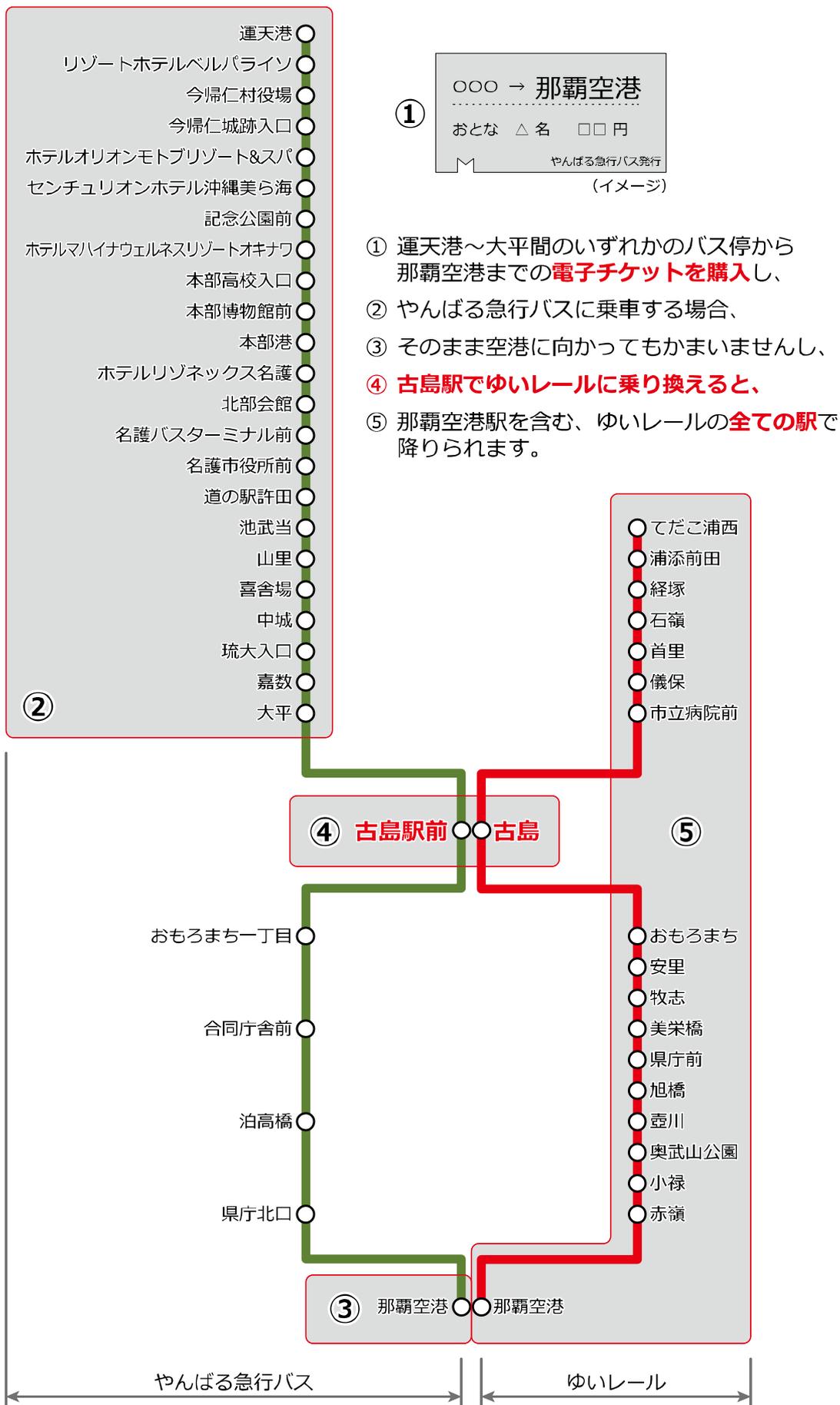
【別紙1】電子チケットについて

この電子チケットについては、那覇空港へ向かう場合、下記の条件を満たすと追加の運賃は不要で、やんばる急行バスの「古島駅前」バス停で降車し、ゆいレールの「古島駅」でモノレールに乗車することが可能となり、那覇市中心部の道路渋滞を避け、バスで移動するよりも早く那覇空港等に到着することができます。

(モノレールに追加運賃不要で乗り換えが可能となる条件)

- ① 上り路線の電子チケットであること(運天港から那覇空港方面)
- ② 乗車停留所は古島駅よりも運天港側の停留所であること
(美ら海水族館、本部港など)
- ③ 降車停留所は那覇空港であること

【別紙2】 実現する電子チケットのイメージ



【別紙3】取り組みの背景

(概要)

モノレールは、陸上の交通渋滞に左右されることのない「定時運行」が選択される理由のひとつです。その中で、やんばる急行バスの市内道路混雑時の遅延事情について、双方で協力体制を確立することで、時間にゆとりのないお客様に対して、乗り換え乗車を案内できる手段を整えました。

速達性を守りながら、お客様にストレスなく満足していただくとともに、その評価が周囲を巻き込んで今後の双方の利用者増に繋げていく効果があると考えます。

(詳細)

やんばる急行バスは、沖縄本島北部と中南部を直結する高速バスです。お客様の中には、那覇空港から飛行機をご利用されるお客様も多くいらっしゃいます。

しかし、

- ・ 那覇市内は混雑していることも多く、バスが遅延運行するリスクがある
- ・ バスが那覇市内に達した地点で、すでに遅延していることもある
- ・ 那覇市内の所要時間は、ゆいレールの方が速い

等の理由で、途中の古島駅でゆいレールに乗り換える方も多数おられます。

しかしその場合、

- ・ 古島駅前～那覇空港間はバスを利用しなかったにもかかわらずバス運賃を支払った上、
- ・ 古島駅～那覇空港駅間のゆいレールの切符をさらに買い足す

という二重の負担を強いておりました。

そこで本電子チケットでは、古島駅前～那覇空港間について、「バスにそのまま乗車しても、ゆいレールに乗り換えても、運賃は変わらない（バスで空港まで行った場合と同額）」とし、

- ・ もともとバスで空港に向かおうとしていた方にはバス遅延時の代替手段を確保する
- ・ バスが遅れた場合にゆいレールに乗り換えようとしていた方には運賃を安くする
- ・ もともとゆいレールに乗り換えて空港に向かおうとしていた方にも運賃を安くする

等のメリットを実現するものです。

なお、ゆいレールは那覇空港駅以外での降車も可能とすることで、やんばる急行バスが運行していない地域（那覇市小禄地区等）を目的とする方の、利便性向上も図っています。

- ・ 実証実験期間 : 2020年2月3日（月）～2020年2月29日（土）
- ・ 販売方法 : 八重山 MaaS(サービス名: Co. RAL) 上で販売

【別紙4】八重山 MaaS 事業連携体

八重山地域での MaaS サービスの実現を目指し、沖縄セルラーアグリ&マルシェ株式会社（本社：那覇市 代表取締役社長：國吉 博樹）、株式会社 JTB 沖縄（本社：那覇市、代表取締役 兼社長執行役員：杉本 健次）、TIS 株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役会長兼社長：桑野 徹）、琉球銀行、一般社団法人八重山ビジターズビューロー（本社：石垣市 会長：石垣市長 中山 義隆）、石垣市（本庁：沖縄県石垣市、市長：中山 義隆）、竹富町（本庁：沖縄県石垣市、町長：西大舩 高旬）の7者で組成した連携体です。

八重山 MaaS は観光型 MaaS のサービスであり、国土交通省の「新モビリティサービス推進事業」に選定されています。

[八重山 MaaS 連携体各社の構成員と役割]

組織名(団体名)	本事業における役割
石垣市	石垣市の交通施策、観光施策との連携強化のための助言
竹富町	竹富町の交通施策、観光施策との連携強化のための助言
沖縄セルラーアグリ&マルシェ株式会社	MaaS 基盤(加盟店利用環境)構築、ユーザーアプリ(沖縄 CLIP)提供、パスチケット提供
株式会社 JTB 沖縄	交通・商業連携の旅行商品企画立案・提供、加盟事業者(加盟店)獲得
TIS 株式会社	MaaS 基盤構築、実証全体とりまとめ
株式会社琉球銀行	キャッシュレス決済対応、加盟事業者(加盟店)獲得
一般社団法人八重山ビジターズビューロー	八重山地域の観光施策、観光施設との連携強化の為の助言

以 上